

在学生と保護者の
皆様へ

College of International Relations/Junior College (Mishima Campus)
Nihon University

令和3年8月発行 年2回発行
日本大学国際関係学部・短期大学部（三島校舎）広報誌

Campus Life

No178 2021.8



キャンパスの桜



令和2年度入学生歓迎式
昨年度中止に伴い、令和3年5月1日(土)に実施



令和3年度開講式
令和3年4月2日(金)に実施



日本大学国際関係学部長

渡邊 武一郎

キャンパスの希望の森からは蝉時雨が聞こえる季節となりました。令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、授業は対面とオンラインの併用が続いています。一日も早くいつものキャンパスライフが戻る事を願っています。

本年度は国際関係学部にて667名、短期大学部ビジネス教養学科に107名、食物栄養学科に84名、専攻科食物栄養専攻に9名、大学院国際関係研究科には7名、更には、三島高等学校に588名、三島中学校に53名と、三島キャンパス全体で1515名の新入生を迎えることが出来ました。全ての在校生、在学生大学院生を合わせると約5315人となります。

国際関係学部には新たに金融論の武田英俊先生、政治学の佐野秀太郎先生、比較文化論の松本佐保先生、心理学の有木永子先生、地域振興論の宮城博文先生、経営学の金崎賢希先生を、短期大学部(三島校舎)には観光ビジネス論の永田美江子先生をお迎えしました。一つの学問分野に偏らず様々な学問分野の先生方がいるのは三島キャンパスの特徴です。学生の皆さんの知的好奇心に応える事ができると確信しています。

新型コロナウイルスの感染症により、日々の授業に加えて部活動やサークル活動が制限される中、学生の皆さんは様々な苦労、不安を抱えていると思います。国際関係学部は教職員が一丸となり、皆さんのサポートに努めます。130年余りの歴史を繋ぎ続けてくれた先人に感謝しつつ、我々も皆で力を合わせて目の前の困難に立ち向かい、克服していきましょう。(令和3年8月)

三島キャンパス 告知板

【後期の奨学生募集】

日本大学三島後援会奨学金(第1種)秋期

募集:10月の予定

対象:他の学内奨学金の給付を受けていない者で、自宅通学が不可能な地域からの下宿学生及び遠隔地域からの新幹線定期券通学の学生

給付額:120,000円(静岡駅からの新幹線通学 80,000円)

なお、第1種春期の採用者であっても再申請可です。詳細は、募集の際に確認して下さい。



【保護者配信メール(さくら連絡網)未登録者の皆様へ】

本学部では、さくら連絡網にご登録済みの保護者の皆様へ原則毎月一度大学から情報を発信しております。ご登録いただけますとLINE等で情報を受け取ることが可能となります。未登録で新規登録をご希望の場合は、庶務課(055-980-0801)へお問合せください。

▶配信内容例

「台風接近による荒天が予想されるので、令和〇年〇月〇日の講義は休講します。」

「令和〇年〇月〇日に成績発送を行いますので、ご確認をお願いします。」

「本学部〇〇部が、全国大会へ出場します。引き続き、ご声援の程宜しくお願いします。」

新任教員の紹介

新任紹介

令和3年度は、以下のとおり、新たに7名の先生をお迎えいたしました。

国際関係学部

- ▶ 国際総合政策学科 …………… 3名
- ▶ 国際教養学科 …………… 3名

短期大学部(三島校舎)

- ▶ ビジネス教養学科 …………… 1名

自己紹介

- ① 主な担当科目
- ② 自己紹介
- ③ 学生へのメッセージ



国際関係学部 国際総合政策学科

教授 佐野 秀太郎

- ① 安全保障論、国際政治学、日本外交論、Japan Studies VI(政治)
- ② 専門は、国際安全保障、日米同盟、民間軍事警備会社(PMSC)です。30年以上に亘り、陸上自衛隊で勤務してきましたが、その間主に教育研究分野に携わっていました。現在は、「自由で開かれたインド太平洋」の重要性が高まっていることを踏まえ、日印安全保障協力についても勉強しています。
- ③ 大学生生活は、大部分の学生にとって人生一度限りの貴重な期間です。けっして無駄に過ごすことなく、充実した日々を送ってください。勉学、趣味、サークル、アルバイトなど悔いなく一生懸命やることがすべて糧となり、自分自身の将来に必ず生きてきます。

国際関係学部 国際総合政策学科

教授 武田 英俊



- ① 金融論、国際金融論、証券市場論
- ② 本年3月末までの33年間、日本銀行に勤務していました。その間、日本銀行の様々な部署で働いたほか、英国留学、米国ワシントンDCにある国際通貨基金(IMF)や京都大学大学院への出向を経験しました。こうした経験を通じて得た知識やノウハウを、次代を担う学生の皆さんに伝え、将来に生かして頂ければと思っています。
- ③ 大学での学修は、与えられる知識等を吸収するだけでなく、自ら積極的に知的刺激を求めらるいわば攻めの姿勢が大切です。若い力を活用して、現在を見据えつつ、今後の長い人生も意識して充実した毎日を送られることを期待します。教員は皆さんのそうした努力をサポートするために存在します。共に学んでいきましょう。

国際関係学部 国際総合政策学科

准教授 金崎 賢希



- ① 国際経営論、経営学、マーケティング論、組織論など
- ② 専門は国際マーケティング。中でも新興国への市場参入を研究しています。学部では、南北格差や国際援助を学んでいましたが、援助を受ける側の自立を考えたとき、起業や企業活動に関心を寄せるようになりました。他にも、医薬品産業の進化及び日本中堅企業の対応というテーマでも研究を行っています。
- ③ 20年前と比べ、日本人の意識は内向きになっています。しかし、日本は国際社会の一員である事実は変わっていませんし、国際関係を学ぶ意義は益々高まっています。コロナ禍で留学等が制限されていますが、ネットを通じて世界中の人々と交流することが可能です。語学の勉強も含め、今できることを着実にやっていきましょう。

国際関係学部
国際教養学科

教授 永木 永子



- ①心理学、教育相談、発達と学習など
- ②専門は、臨床心理学、精神保健です。臨床心理士・公認心理師として医療領域を中心に実務を重ねながら教鞭をとっています。臨床活動では来談者と出会った時の心理アセスメントを大切にしています。来談者とコラボレーションで理解を深める過程は、とてもTherapeuticな営みです。
- ③大学で学ぶことは、植物を育てることに例えられます。植物は、太陽を浴びて水を飲み風に当たって大きくなります。あなたが感じる「小さな疑問」も、このように育ててあげてください。それこそが「大学で学ぶこと」になるでしょう。コロナ禍で制限がたくさんありますが、だからこそできることを一つでも探して、ともに乗り越えていきたいですね。

国際関係学部
国際教養学科

教授 松本 佐保



- ①比較文化論
- ②私の研究分野は主にイギリスとイタリアの近代と現代の歴史や文化、また政治・外交です。キリスト教など宗教と政治の問題も研究対象です。イギリスとイタリアに留学していたことがあり、これらの国々の文化だけでなく、その政治や外交、社会問題、過去の植民地の問題などについての内容も講義で扱っています。
- ③コロナ禍で海外に行けず大変な時期ですが、オンラインなどでコミュニケーションを取ることは出来ます。国際的な広い視野で物事を見る目を養うために、勉強でも、遊びでも色んなことに好奇心を持って挑戦してみてください。学生時代の多くの経験が、皆さんにとって限りない可能性を切り開くことになると思います。

国際関係学部
国際教養学科

准教授 宮城 博文



- ①国際観光経営論、国際観光政策、地域振興論
- ②研究している分野は、島しょ観光です。具体的には沖縄本島における観光産業(特に宿泊業)の発展形性の過程、並びに若年層の観光振興に対する態度について研究しています。国際関係学部のキャンパスのある静岡県三島市や伊豆半島には、沖縄本島と同様に多くの観光資源があります。このような観光地での研究も行っていきたいと考えています。
- ③観光は、地域に肯定的なインパクトを与えることと同時にネガティブな影響ももたらします。昨今の状況により、観光産業は非常に「大変」な状況にありますが、この状況下の中でも、地域の資源や観光のあり方を見直す動きがみられます。観光を通じて地域や観光ビジネスを「大きく変える」ことを国際関係学部の学生と一緒に考えていければ幸いです。

短期大学部(三島校舎)
ビジネス教養学科

教授 永田 美江子



- ①観光ビジネス、ホスピタリティ産業論
- ②「ホスピタリティマネジメントを活用した観光ビジネスの振興」を研究しています。この度のコロナで観光産業は大打撃を受けましたが、知らない土地を見たいという人の持つ移動への欲求はなくなりません。アフターコロナでは、観光産業は息を吹き返すことを期待されています。コロナの教訓を大切に、皆さんと一緒に未来の観光産業を考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。
- ③体力と気力のある若いときに、色んなことにチャレンジしてください。その時は役に立たないかもしれませんが、きっと後からチャレンジしてよかったと思う時がきます。机上の学びだけでなく、経験を通した学びも両方の学びを深めていってください。もし困ったことがあればどうぞ気軽に声をかけてください。日本大学での日々を充実したものにしてお手伝いをさせていただきます。

国際総合政策学科

助教 眞嶋 麻子

(主な担当科目:国際技術協力論)

コロナ禍での大学は2年目を迎えました。昨年と比べると、学生も教員も、オンライン授業にだいぶ慣れてきたというのが実感です。

今年度前期に担当した「国際協力論」「国際技術協力論」「開発教育論」では、授業動画を事前に録画し配信する「オンデマンド型」と、Zoomを使って講義や議論をする「リアルタイム型」とを使い分けて授業を行いました。「オンデマンド型」は情報や知識を供与することに適しており、「リアルタイム型」は修得した知識を使って議論をしたり、グループワークを行ったりするツールとして有用だと感じています。学生からも自分のペースでじっくり学修できる「オンデマンド型」と、時には他人の意見を聞いたり直接教員に質問をしたりできる「リアルタイム型」とをうまく活用して、コロナ禍の授業を乗り切っている様子が窺えます。授業に関しては、学生も教員もコロナ禍を生き抜くスキルを獲得しつつあるのかもしれない。

他方で、専門知識を得ることだけが大学の役割ではないこともまた、ひしひしと感じています。本学部では、1年生の必修科目



「自主創造の基礎」の大半は、感染対策を取って対面で実施しています。レポートの書き方や発表の方法など、基本的な学修スキル習得のための授業ですが、貴重な対面授業の機会ですので、学生同士の共同作業を取り入れながら、他の受講生からの刺激を受けることもできるように模索しています。入学したてで、これから大学での自主的な学びを体験しようとしている皆さんには、対面授業で得られる安心感もまた重要です。

効果的な学修にとって、オンライン授業と対面授業のいずれか一択ではないように思います。コロナ禍が続く中で、大学ではどのような学びの場を作ることができるのか、日々探求中です。



対面授業「自主創造の基礎」の様子

対面授業紹介 国際関係学部 国際教養学科

国際教養学科

教授 伊坂 裕子

(主な担当科目:心理学)

キャンパスが新型コロナウイルスの影響を受け始めて2年目、学生も教員もオンライン授業にも慣れてきました。三島市内の下宿先を引き払い、地方の実家から授業に参加する学生もいます。その中で、対面授業が許可された数少ない授業の一つがゼミです。我がゼミでも、対面授業を強く希望する学生とオンライン授業を希望する学生がいました。両方の希望を満足させるために、ハイブリッド式の授業を展開することにしました。

ゼミでは、グループで学期を通して課題に取り組みます。グループの一つはオンラインチームとし、毎回、オンラインで授業に参加してもらうことにしました。残りのグループは、対面のグループです。しかし、日によって、体調不良などの理由で、急遽、オンライン参加となる学生もいます。グループの他のメンバーが教室に集まっている中で、一人だけオンラインで話し合いに参加するために、タブレットも用意しました。



ハイブリッド式の授業では、システムやソフトの関係で、対面と同じようにはできないことがあったり、機器の操作上のトラブル等もあったりしますが、その時、その時に出てくる新しい問題を解決しながら、面白い体験ができていると感じます。何よりも、学生たちが与えられた環境の中で、工夫しながら課題を達成していく姿勢を学んでいると感じます。「変えることのできないものを受け入れる静穏さを、変えることのできるものを変える勇気を、そして、両者を識別する知恵を与えたまえ」というのは、ニーバーの祈りですが、コロナ禍の授業は、これを実践しているのではないかと感じます。学生たちは、静穏さと勇気と知恵を身につけて、これからの人生に向けて船出ができると期待しています。



ゼミナールの様子(ハイブリッド型)

オンライン講義紹介 短期大学部(三島校舎) ビジネス教養学科

ビジネス教養学科

教授 岡野 雄司

(主な担当科目:スポーツ科学と健康)

昨年度から新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン授業が始まりました。何とか1年を乗り越えましたが、その後の感染拡大は止まらず、2年目もオンライン授業が継続され、今に至っています。

昨年度は、教員も学生も初めてのオンライン授業となり、手探りで進めていた部分がありました。しかし、1年目終了時に振り返りシートなどを使い、学生からのフィードバックを集めたことで、オンライン授業1年目と比べ、2年目は学生からのフィードバックを取り入れた授業が準備できる点で大きな違いが生まれました。

今年度、私が重視している点はZoomを用いたリアルタイムでのコミュニケーションです。昨年度の学生からのフィードバックで、「オンデマンドでの動画配信のみの場合、先生と会話や相談がしにくい」などの声が見受けられました。この点を踏まえ、Zoomでの授業であるものの教員の顔を見ながら話す機会を与え、それが対面授業の時のような雰囲気を作ることができています。

また、他の人前では発言が苦手な学生もいるためZoomの機



能の「反応」を有効に活用しています。これにより、各個人の画面内に拍手や笑顔のマークが表示され、意思表示のハードルが下がることや授業に参加しているという実感を得ることに繋がっているようです。

その他にも、対面授業の時と同様に授業終了後に教員へ質問や相談ができるように、今は授業終了後すぐにZoomを切らず、質問や相談の時間を設けることも工夫しています(個別対応のため、ブレイクアウトルームを活用し、プライバシーの保護に努めています)。

このように私のオンライン授業の取組は、オンラインでありながらもリアルタイムでの対応を中心としています。臨機応変に対応し、学生の皆さんの夢の達成のお手伝いができるよう日々精一杯取り組んでいます。



オンライン授業の様子

対面授業紹介 短期大学部(三島校舎) 食物栄養学科

食物栄養学科

准教授 篠原 啓子

(主な担当科目:栄養教育論)

食物(栄養素)の摂取と健康との関係を栄養素の体内における代謝を通して明らかにする「栄養学」という学問を修得するためには、講義内容を補完する実験実習の科目が欠かせません。そのため、食物栄養学科では週の4分の1が実験実習の科目に充てられています。写真は、私が担当する「実践栄養教育実習」の一場面です。この科目は栄養士資格取得のための短大2年生の必修科目で、人間のライフステージごとに必要な栄養について学ぶ「応用栄養学」の講義と並行して行われます。また、この実習は、夏期休暇中に行われる病院や高齢者施設、保育園や学校での校外実習に向けての知識やスキル修得の目的もあります。この日は、脳梗塞で片麻痺がある高齢者の状態を理解するために、装具をつけての疑似体験や介護食体験とともに、誤嚥性肺炎や脱水を予防し、食べる楽しさを支援するとろみ剤の使い方の実習を行いました。

実験実習はグループワークで行われる授業形式です。学生は、



対面で実験実習を行いながら学生相互や教員とのコミュニケーションをとり、知識やスキルを身につけていきます。そのため、コロナ禍における感染予防対策とは相いれない場面が多々生じます。特に「三密」対策として、学生間の距離を確保するためにクラスを2つに分けて実験実習室を用意し、かつ実習と演習を組み合わせた授業構成にしています。また、対面実習とオンライン実習を組み合わせるなど従来の授業の質を落とさないよう各教員が昨年から工夫を重ねています。学生たちも暑い中フェイスシールドをつけての作業や調理したものを試食するときにはパーティションを準備して黙食するなど不自由な状態で頑張っています。実験実習を行うには大変な状況下にあります。クラスメイトと直に会える貴重な時間と学生たちが捉えている様子を見るとほっとします。同時にコロナウイルスの早い終息を願う毎日です。



疑似体験の様子

目標は静岡リーグ全勝優勝、 全国大会1勝。

国際政策学科 4年 **服部 恵汰**

私は、硬式野球部(部員数155名)の主将を務めています。チームの目標は、歴代で一度も達成したことがない静岡リーグ全勝優勝、そして全国大会1勝です。今季の春季静岡大学リーグでは、優勝できたものの目標を達成することはできませんでした。しかし、新チーム始動時を考えれば、今季優勝できたことは大きな自信になったと思います。新チーム始動時は、昨年から主力で活躍していた選手が少なく、連帯意識も希薄であり、チーム力が全くない状態であったことを覚えています。主将として、この状態を打破するために取り組んだことは、毎回の練習で行うミーティングです。このミーティングにより、選手のモチベーションの維持、動きを合わせた全体でのランニングなど4年生を中心にチーム力の向上を図ることができ、それが今季の優勝に繋がったと思います。今後は、達成できなかった目標を来季こそ必ず達成できるよう日々精進し、そして、コロナ禍だからこそ、多くの人に元気を与えられるようなチーム、愛され応援されるチームを目指して活動していきたいです。

最後に、コロナ禍により大学で友人と会う機会が少なくなり、寂しい時期が続きますが、残りの学生生活を野球だけではなく、学習にも力を入れ、文武両道を心掛けていきたいです。今後も硬式野球部へのご声援をよろしくお願いいたします。



国内旅行業務取扱 管理者を取得

国際教養学科 3年 **柴田 ひなの**

私は、2年次に「国内旅行業務取扱管理者」を取得しました。この資格は、旅行業界唯一の国家資格です。将来観光業界への就職を目指し、合格に向け勉強を積み重ねました。まずは、通常講義で基礎知識を身につけ、さらに、「夏季集中講座」を受講することで理解を深めていきました。この集中講座は8月末、試験の直前に朝の9時から16時頃まで、4日間開催されます。今回は、新型コロナウイルスの影響で、オンラインでの実施でした。朝早くから約8時間の勉強は大変でしたが、ベテラン講師による授業は、要点が非常に分かりやすく、最後まで試験勉強に取り組むことができました。この指導のおかげで合格率が約30%の試験に、見事合格。大きな自信につながりました。将来の夢に一歩近づいたと実感しています。また、資格は特に受験資格はなく気軽に受験可能なので、旅行好きな方や旅行業界に興味がある方におすすめです。一度取得すると生涯有効なため、大きな強みになります。

今後は、さらなるレベルアップを目指し、秘書検定やTOEIC®の挑戦を考えています。特に秘書検定は、秘書業務に関してだけでなく、一般常識や正しい敬語の使い方、ビジネスマナーなどを学べます。今後社会人になる上で必要な知識やマナーを身につけることが可能です。このように資格取得を継続し、就職活動の際、自分の強みとしてアピールすることが目標です。



英語教員になるために

国際教養学科 2年 **かずま 数馬 萌音**

「英語特別クラスに入って、自分の英語力を伸ばしたい」その一心で私は英語特別クラスを希望しました。私は、1年次から英語特別クラスに所属しています。英語特別クラスでは主に英語で授業が行われており、基本的に日本語を使うことはありません。また、外国人の先生によって授業が行われることもあり、全てが英語で行われます。

私が英語特別クラスに所属していて大変だと思うことは、自分の意見などを英語で伝えなければいけないということです。特に外国人の先生の授業の場合には、すべて英語で伝えなければいけません。書くこととは異なり、すぐに相手の言葉に反応しなければならないので、単語が咄嗟に出てこなかったり、相手が言っていることを理解できなかったりした場合に会話が成り立たなくなります。この経験から私が現在頑張っていることは、Speakingです。私は今までSpeakingの勉強をしてこなかったため、大学で英語の授業が始まった当初はととても大変でした。私は将来英語教員になることを考えています。英語教員として自信をもって教壇に立てるように、英語特別クラスで一生懸命努力し、英語の力を伸ばしていきたいと考えています。



週に一度の対面授業は 成長の場

食生活養学科 1年 **あぎと 高木 明杜**

入学して以来、三島キャンパスでの授業形式はオンラインが中心となっているため家で授業を受けることが多く、対面式の授業に比べて集中力が続かないなあ…と感じることがあります。そのような状況下、私は常に意識を高く持ち、授業担当の先生に積極的に質問することにより集中力を維持しています。また、オンデマンド方式のオンライン授業であっても視聴を後回しにせず、本来の授業時間内での受講を心掛けています。授業で出される課題も週末の休みなどを利用して早めに終わらせ、モチベーションを維持しています。

現状では、対面式の授業は週1回ですが、クラスの仲間に会うことができるので1週間の楽しみの1つです。対面式の調理実習は実際に自分の手で作業することにより成長できる場のため、様々な食材に触れ、積極的に調理に参加するように心掛けています。オンラインも含めると実験・実習科目の授業は週2回となり、レポート作成はハードですが、毎日地道に進めることで余裕をもって提出できています。また、息抜きに体を動かしたり、好きなものを食べたりリフレッシュして、モチベーションを下げない工夫をしています。

私は将来、食品開発の仕事に携わりたいと考えています。食品開発の仕事では栄養士の免許やフードスペシャリストの資格が役に立つので、私はこれらの資格の取得を目標にしています。卒業並びに資格取得の要件として、まずは必修科目を取るために、今は必修科目を重点的に学習しながら良い成績を目指して日々学習に取り組んでいます。後期は、将来のキャリアに直結する専門的な授業も増えてくるので、今から楽しみにしています。



今後の就職活動(就職指導課長)

国際関係学部では、国際社会の各分野で活躍するための力を身につける学びを展開していることから、卒業生の就職先も多岐にわたっています。大学新卒求人においては、業界や企業規模にかかわらず、主体的行動力やコミュニケーション能力に加え、「世界をどう見るか」という力が高く評価されます。これらの力は、当学部が用意している各種のカリキュラムをきちんと学修すればおのずと身につきますので、1年次から真剣に学習に取り組んでいただきたいと思います。短期大学部学生は、1年次から就職活動を開始することになるため、卒業後の進路を入学後早急に決定し、学業に取り組む必要があります。

今回のコロナ禍の影響により、就職活動の様相も劇的に変化しました。WEBを活用した選考が定着し、アフターコロナでも主流になることが想定されますので、独自の準備や対策を講じる必要があります。しかし、最終的に「人」が採用の可否を決定している限り、日々の学生生活の中で着実に基礎力をつけていくことが就職活動を成功に導く最も確実な方法であると思います。

2021年3月卒業生 主な内定企業一覧

国際関係学部			
建設業	卸売業・小売業	専門・技術サービス業	公務(国家・地方)
セキスイハイム東海(株)	(株)NEXTAGE GROUP	(株)シー・アイ・シー	岐阜県警察本部
TOTO(株)	(株)イトーヨーカ堂	(株)東海建設コンサルタント	群馬県桐生市役所
木内建設(株)	(株)オグマ商会	(株)ゆこゆこ	警察庁皇宮警察本部
クリナップ(株)	(株)カインズ	宿泊業・飲食サービス業	埼玉県警察本部
清水建設(株)	(株)キャメル珈琲	(株)JR西日本ヴィアイン	静岡県警察本部
大和リース(株)	(株)クリエイトエス・ディー	(株)TJKリゾート	栃木県警察本部
タマホーム(株)	(株)ジャパネットホールディングス	(株)ジェイグループホールディングス	長泉町
積水ハウス(株)	(株)ジュピターコーポレーション	(株)すかいらーくホールディングス	防衛省 海上自衛隊
製造業	(株)ツツミ	(株)ゼンショーホールディングス	防衛省 陸上自衛隊
(株)伊藤園	(株)東急ストア	(株)ハレスホテル	横芝光町
(株)キーエンス	(株)東急ハンズ	(株)三井不動産ホテルマネジメント	輪之内町
(株)コーセー	(株)東急百貨店	(株)ワールドリゾートオペレーション	神奈川県警察
(株)ツムラ	(株)トゥモローランド	さわやか(株)	教育・学習支援業
アサヒ飲料(株)	(株)ネクステージ	シダックス(株)	(株)秀英予備校
味の素(株)	(株)ビックカメラ	スターバックスコヒージャパン(株)	茨城県教育委員会
伊藤ハム販売(株)	(株)本久	日清医療食品(株)	学校法人静岡自動車学園
エンケイ(株)	伊藤忠アビエーション(株)	リゾートトラスト(株)	学校法人日本大学
ジャトコ(株)	オーケー(株)	生活関連サービス業・娯楽業	静岡県教育委員会
ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)	キヤノンシステムアンドサポート(株)	(株)日比谷花壇	宮崎県教育委員会
日本プラスト(株)	テルウェル東日本(株)	(株)びゅうトラベルサービス	
ブリヂストンスポーツ(株)	トヨタL&F静岡(株)	(株)フジコー	
ポリプラスチックス(株)	トヨタモビリティ東京(株)	(株)平安	
日本コルマー(株)	マックスバリュ東海(株)	医療・保健衛生業	
日本電気(株)	ユニー(株)	(株)ボディーワーク	
電気・ガス・熱供給・水道業	横浜トヨペット(株)	医療法人静岡徳州会病院	
(株)TOKAIホールディングス	ラルフローレン(株)	社会保険・社会福祉・介護事業	
東京ガスパイプネットワーク(株)	リコージャパン(株)	(株)ベネッセスタイルケア	
情報通信業	横浜冷凍(株)	(株)ユニマット リタイアメント・コミュニティ	
(株)JTBグローバルマーケティング&トラベル	協和医科器械(株)	医療法人杏林会	
(株)TOKAIコミュニケーションズ	富士ゼロックス神奈川(株)	複合サービス事業	
(株)コサウエル	金融業・保険業	京都市農業協同組合	
(株)ゴルフダイジェスト・オンライン	(株)十六銀行	静岡県厚生農業協同組合連合会	
(株)静岡情報処理センター	(株)七十七銀行	清水農業協同組合	
(株)静鉄情報センター	(株)群馬銀行	ハイナ農協同組合	
(株)大塚商会	(株)静岡銀行	富士宮農業協同組合	
Sky(株)	(株)清水銀行	山口県農業協同組合	
ソフトバンク(株)	(株)常陽銀行	横浜農業協同組合	
ヤマハモーターソリューション(株)	(株)東日本銀行	三島南農協同組合	
楽天(株)	(株)北洋銀行	南駿農業協同組合	
運輸業・郵便業	(株)宮崎銀行	その他サービス事業	
(株)ジェイアール東日本物流	しずおか焼津信用金庫	(株)JR東日本ステーションサービス	
アーク引越センター(株)	静岡ビジネスクリエイト(株)	(株)杏林堂薬局	
小田急電鉄(株)	静銀モーゲージサービス(株)	(株)ジェイアール東海バスセンター	
花王ロジスティクス(株)	諏訪信用金庫	(株)静岡カントリーグループ	
鈴与自動車運送(株)	長野信用金庫	(株)スズキ自販浜松	
鈴与通関(株)	沼津信用金庫	(株)スタジオアリス	
帝産観光バス(株)	富士信用金庫	(株)全日警	
日本貨物鉄道(株)	三島信用金庫	(株)マーキュリー	
日本通運(株)	第一生命保険(株)	(株)マイナビ	
日本ロジテム(株)	明治安田生命保険相互会社	(株)リログループ	
三菱ケミカル物流(株)	不動産・物品賃貸業	(株)ワールドインテック	
ヤマト運輸(株)	(株)共立メンテナンス	エン・ジャパン(株)	
清水倉庫(株)	住友不動産販売(株)	セコム(株)	
清和海運(株)	トヨタモビリティサービス(株)	総合警備保障(株)	
東海旅客鉄道(株)	明和地所(株)	マンパワーグループ(株)	
東京地下鉄(株)	リコーリース(株)	三井物産ビジネスパートナーズ(株)	

短期大学部(三島校舎)

製造業

(株)ヤクルト本社
(株)ヤマザキ
レマコム(株)
興和(株)

卸売業・小売業

(株)クリエイティブ
(株)すみや電器
(株)トヨタレンタリース静岡
ダイハツ沼津販売(株)

金融業・保険業

沼津信用金庫
三島信用金庫

宿泊業・飲食サービス業

(株)ニココトラスト
(株)メフォス東日本
エムサービス(株)
サンフーズ(株)

生活関連サービス業・娯楽業

ラッシュ(株)
日清医療食品(株)

複合サービス事業

(株)カープスジャパン
長島観光開発(株)
大井川農業協同組合
生活協同組合ユーコープ

社会保険・社会福祉・介護事業

(財)日本老人福祉財団
フラワー保育園

その他サービス事業

シダックス大新東ヒューマンサービス(株)
生活協同組合バルシステム静岡
富士産業(株)